

事例研究（資本市場と公共政策）

1. テーマ 「金融の市場化と金融システム」 (詳細シラバス参照)
2. 進め方 担当教員（天谷知子、小野傑）、ゲストスピーカーによる講義
学生による報告、パネルディスカッション (別紙日程参照)
3. 学生報告等 「我が国における今後の金融（金融制度、金融規制、金融システム）」
をテーマに、A4用紙2ページのレポートを作成する。
授業内での報告を希望する学生は、12月初旬までにレポートを提出、授業において発表する。担当教員及び学生による評価を行い、1月の授業において、高い評価を得た学生によるパネルディスカッションを行う。(詳細は後日発表)
授業内での報告を希望する学生は、10月31日までに、CFIVEテスト機能を利用し登録すること。
4. 成績 平常点（授業への出席、参加・貢献度）及びレポートによって評価する。
レポートについては以下の通り。
【授業内報告を行う学生—パネルディスカッションを行う場合】
レポートの期末提出は不要。
期中の提出レポート及びパネルディスカッションにより評価する。
【授業内報告を行う学生—パネルディスカッションを行わない場合】
期末(1月31日まで)に再度レポートを提出する。期中の提出レポートを、改訂してもしなくても可。
期末レポートにより評価するが、期中レポートにおいて、パネルディスカッション参加者に準ずる高い評価を得た場合にはその点を成績に加味する。
【授業内報告を行わない学生】
期末レポート(1月31日までに提出)により評価する。
*次回以降出席をとる。
*授業での発言はCFIVE掲示板機能により登録すること。
5. 授業資料 2回目(10月10日)の資料は、CFIVEに掲載するとともに当日配付する。
3回目(10月17日)以降の資料は、CFIVEにより配付する。
履修生は、教育要計算機システムのアカウントを取得し、CFIVEの本コース(時間割コード5140395 事例研究(資本市場と公共政策))の学生登録を行うこと。

質問等は天谷 (amaya@pp.u-tokyo.ac.jp)まで

2012年冬学期スケジュール

(敬称略)

- 10月3日 オリエンテーション、基礎知識（その1）（直接金融と間接金融） 天谷
- 10日 基礎知識（その2）（金融の変化と金融規制、日本における市場型間接金融論）
- 17日 「金融技術の変化と金融システムの安定 — 証券化の事例—」
玉木伸介 （大妻女子短期大学教授）
- 24日 「日本における証券化の意義、特徴、低迷の背景
- 原債務者との関わりも含めて」 小野
- 31日 基礎知識（その3）（シャドーバンキングシステム） 天谷
- 11月7日 「安全資産重視の実態とリスクマネー増加に向けた日本の課題」
矢嶋康次 （ニッセイ基礎研究所主任研究員）
- 14日 「証券会社の資金調達とリスク管理について」
清水敦史 （みずほ証券財務企画部長）
藤井健司 （みずほ証券執行役員リスク管理グループ長）
- 21日 経済の観点から 柳川範之
- 28日 法律の観点から 神田秀樹
- 12月5日 担当教員による対談 （小野 & 天谷）
- 12月12日 }
12月19日 } 学生報告及びパネルディスカッション
1月9日 }
1月16日 }